



やりがいは、
ここから。

四国総合通信局

職員からのメッセージ



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications



ICTを活かした地域課題の解決

ICTによる四国の産業の高度化

豊かなライフスタイルのための生活支援

多様な働き方の実現

四国の未来を支える人づくり

安心して暮らせる環境づくり

次の時代を見据えた 地域社会の実現へ



新しい知識を業務に活かす

私の地元では特産物であるミカンの栽培をしています。近年ドローンを使用して作物の生育観察や農薬等の散布などを行うようになった結果、長時間労働や労働力不足の解消につながりました。このような地域課題を解決できる情報通信技術に興味を持ち、最先端技術によって四国の発展に貢献することに魅力を感じ入局を希望しました。今後は、地域発展の基礎になるローカル5Gなどの技術に行政の面から携わっていければと思っています。

私は現在、アマチュア無線局の許認可の業務を行っています。無線局の許認可業務は法令に則って処理する知識に加え、無線機の技術的な知識も必要となりますが、基礎的な無線工学知識や無線機の操作研修が準備されており、上司や先輩にもサポートしていただけるため、現在では滞りなく職務を行うことができます。

最初は慣れない専門用語に戸惑いましたが、日々新しい知識を得ることはとても面白く、学んだことを実際の業務に活かすことができた時には達成感があります。これからもさまざまな業務知識を習得し、情報通信行政に取り組んでいきたいと思っています。



無線通信部 陸上課
私設無線担当

渡邊 俊

行政採用（文系）



One day schedule

- 9:00 始業
メール、スケジュール等の確認
 - 9:30 アマチュア無線局の申請書の処理
 - 10:00 免許人からの電話対応
 - 12:00 昼食（お弁当か同期とランチ）
 - 13:00 アマチュア無線局の申請書の処理
 - 15:00 WEB研修等受講
 - 17:45 終業
同期と釣りに行ったり、家でゆっくり
- 新型コロナウイルス感染症対策にかかる時差出勤の取り組みのため

Private time



ラーメンが大好きで、休日には松山近郊でラーメン屋巡りを楽しんでいます。

松山には初めて住むことになりましたが、ラーメン屋が多く、店ごとにメニューもかなり豊富なので、かなり満足しています。今後は日本全国のラーメン屋を巡っておいしいラーメンに出会い、自作で再現できたらと思っています。

電波利用環境を守るために

私の所属する監視調査課では、電波監視に使用する機器の保守点検や不法な無線の探査などを行っています。消防や救急、航空無線など、私たちの生活に欠かすことのできない無線局に障害が生じた際、迅速に妨害源を特定・排除するために現地へ向かったり、総務省から免許を受けていない不法無線局を摘発するため取り締まりを実施したりと、電波利用環境を守るため職場を飛び出し四国中を駆け巡っています！

入局のきっかけは、コロナ禍でテレワークやリモート会議の普及といった様々な変化が起こっている中、偶然参加した大学の業務説明会で、今注目されているIoT・ICTや5Gなど最前線の情報通信技術を扱っていると知ったことです。実際に業務説明会に参加してみると、職員同士の雰囲気がとても良く、自分に合っていると感じたことが入局の決め手となりました。

四国総合通信局は、文理問わず様々な方が活躍している職場です。電波やIoT・ICTのことをもっと知りたい方はもちろん、「よく分からないけどおもしろそう」と少しでも興味を持った方は、ぜひ、業務説明会や官庁訪問に参加してみてください！



電波監理部 監視調査課
技術調査担当

菊池 拓実

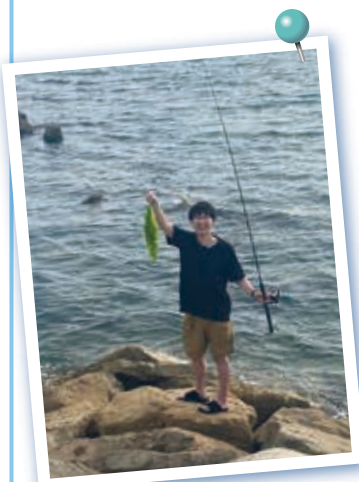
行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
1日のスケジュールの確認
- 9:00 電波監視システムが正常に動作しているか確認
業者との打ち合わせ準備
- 12:00 昼休み
- 13:00 打ち合わせ（オンライン）
- 15:00 打ち合わせの資料整理
- 17:15 終業

Private time



退庁後や休日は、松山周辺をランニングしたりサイクリングをしたりするなど、体を動かしてリフレッシュしています。また、同期や先輩方と釣りに行くこともあり、最近はYouTubeを見ながら魚のさばき方を学んでいます。まだ始めたばかりなので、いつか大物を釣り上げたいです！

防災に携わるやりがいのある仕事

通信分野の最先端の技術に触れながら仕事ができること、採用3年目に東京の総務本省で2年間勤務の経験ができることに魅力を感じ、入局を決めました。

現在は、自治体の防災行政無線や消防無線の許認可を担当しています。近年、四国において大規模災害が想定される中、防災、応急救助、災害復旧に大きく貢献する手段として、防災行政無線は重要な役割を担っています。防災行政無線の整備にあたっては、自治体やメーカーのヒアリングを通じて、地域のニーズに応じた整備計画を検討していきます。その後、電波法に照らして申請書を審査します。無線局を免許するのは責任のある仕事ですが、地域住民の安心安全の確保につながる無線の整備に携わることができ、日々の業務にやりがいを感じています。

入局まで無線工学を専門的に学んだ経験はありませんでしたが、研修や上司の指導が充実しており、業務を通じて学ぶことのできる環境が整っています。理系、文系にかかわらず、新しい知識を身につけながら、日々、成長を実感できる職場であると思います。これからみなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。



無線通信部 陸上課
公共団体担当

栗田 佳世子

行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
1日の予定やメールを確認
- 9:00 無線局免許申請の申請書受付
- 12:00 昼休み 先輩方と休憩
- 13:00 無線局免許状の交付準備
- 14:00 提出された申請について
上司に相談して審査
- 17:15 終業
家に帰ってゆっくり過ごす

Private time



休日は職場の有志と釣りや登山に出かけ、新たな趣味の開拓を楽しんでいます。年次有給休暇も取りやすい職場であり、アウトドアやスイミングで身体を動かし、リフレッシュして仕事に取り組むという自分らしい生活を送ることができています。新型コロナウイルスの状況が落ち着いたら、バイクに乗って全国に旅行に行きたいです。

工夫次第で楽しく仕事ができる

今後も更なる発展と活用が見込まれる情報通信業務に携われることや、基本的には地元である松山勤務で転勤がなく、将来設計が行いやすいことに魅力を感じ、総合通信局を志望しました。

現在は、電気通信事業課に配属となり、「四国コンテンツ映像フェスタ」を担当しています。このイベントは動画制作に関する人材育成と地域の活性化を目的に、毎年開催しているデジタル動画コンテストです。多くの方に知ってもらい、応募してもらうために、フェスタの作品応募用のホームページを作成したり、周知用ポスターを駅に掲示してもらえるよう鉄道会社にお問い合わせしたりと、自分たちの工夫次第でやりたいことが実現できるよう進めていく過程が楽しく、また実際に実現できたときにはやりがいを感じます。

総合通信局と聞くと、理系の職場で専門的な知識が必要、と思う方もいると思います。しかし、職場の半数以上は文系出身であり、仕事をする上で必要な知識は、業務内容に応じた研修により学ぶことができます。また、研修以外でも、職場では分からないことは何でも聞きやすい雰囲気があるので、日々勉強しながら楽しく仕事をするできています。

学びたいという気持ちがある方なら、どなたでも働きやすく、日々自分の成長を感じられる職場であると思います。



情報通信部 電気通信事業課
コンテンツ流通促進担当

水地 佐央里

行政採用（理系 / 工学部）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、1日の課内予定等の確認
- 9:00 メールマガジンの配信準備
- 12:00 お昼休み
先輩方とともに女性休憩室でお弁当を食べたり、外でランチしたり
- 13:00 四国コンテンツ映像フェスタに関する資料作成等の事務
- 15:00 ホームページ更新準備
- 17:15 終業
明日の仕事で行うことを確認して退庁
家に帰ってのんびり過ごす

Private time



新型コロナウイルスによる自粛生活で、料理とお菓子作りにハマったこともあり、職場の同期の谷岡さんと一緒に料理教室に通っています。料理教室では、教室の先生や同期と美味しいご飯やお菓子を楽しく作れるので、リフレッシュにつながっています。家でも習った料理を家族に振る舞い大変喜ばれています。

コロナウイルスが落ち着いたら、年次有給休暇を活用して県外旅行に行きたいです。

大学時代の経験が役立つ

情報通信分野はICTの利活用を通して教育・医療・農業・観光など、幅広い分野と関わっており、総合通信局であれば地域活性化のために様々なアプローチができると考え、入局を決めました。

採用当初は放送局の許認可業務を担当し、使用する電波が他の無線局に干渉を与えないかといった技術的な審査や、法令に則って提出された書類の事務処理などを行っていました。

現在、電気通信事業課で主に担当しているのは、携帯電話事業者やインターネット接続事業者など、電気通信事業者から提出される届出の処理です。法律やガイドラインに基づいて処理を進めるため、大学時代に法律を学んでいた経験が役に立っています。また、小中高生を対象として、ネットの安心・安全な使い方について啓発を行う「e-ネットキャラバン」の講師や、一般の方からの契約に関する相談など、地域住民と関わる機会も多く、やりがいを感じています。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2日に1回のペースでテレワークをしています。最近は書類の電子化も進んでおり、また、総務省はテレワークを推進する組織なので、柔軟な働き方ができる環境も整っています。

今後は、様々な課での経験を積み、いろいろな角度から地域に貢献していきたいと思っています。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！



情報通信部 電気通信事業課
事業担当

谷岡 玲奈

行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
スケジュール・メールを確認
- 9:00 電気通信主任技術者及び工事担任者の資格者証交付申請書の処理
- 12:00 お昼休み
女性休憩室で同期や先輩方とランチ
- 13:00 課内打合せ
- 14:00 提出された届出について上司に相談して受付・審査
- 17:15 終業
買い物に行ったり、家でのんびり過ごしたり

Private time



上司と登山をしたり、同期と料理教室に通ったり、休暇を利用して新しいことを始めてみました。また、社会人になってから一眼レフを購入したため、県内の観光地を巡って写真を撮ることも、楽しみの一つです。新型コロナウイルスの影響で遠出はできませんが、その分、地元である愛媛の魅力を見ることができました。

「ローカル5G」で国民生活を豊かに

昨年まで2年間所属した本省の総合通信基盤局電波部移動通信課では、society 5.0時代に向けて誰でも5Gを使えるようにする「ローカル5G」の制度作りに携わっていました。無線機メーカーへのヒアリングや海外の先行事例調査を行ったり、どの法令に何を規定すべきかを整理したりしていましたが、何もかもが初めてのことで日々奮闘していました。仕事に追われ大変な時期もありましたが、自分の仕事がテレビや新聞で取り上げられるなど、全国規模の大きな仕事を経験することができました！

現在の電波利用企画課でも、ローカル5Gの担当をしています。今度は実際にローカル5Gを使ってもらうため、興味がある方の相談を受けたり、総務省の実証事業に参画したい方の提案内容を一緒に考えたりしています。四国でもローカル5Gを使う方が増えてきており、自分の仕事が役立っていると感じています。

地方局と本省は両方とも国民の生活を豊かにするという目的のために働いていますが、地方局は国民と直接関わることが多く、生の声を聴けるのが魅力です。国民の近くで国家公務員として働きたいという方は、ぜひ説明会にお越しください！



ローカル5G：地域や産業の個別のニーズに応じて地域の企業や自治体などが、自らの建物内や敷地内で5G（「超高速」、「多数同時接続」、「超低遅延」の3つの特徴を持った通信）を柔軟に構築できるシステム。

Private time



インドアとアウトドアを半分ずつ楽しんでます。インドアで家の中で過ごすときは、ゲームをしたり、ドラマを見たり、ゆっくり過ごしています。アウトドアで外に出るときは、登山に行ったり、キャンプをしたりしていますが、最近のお気に入りにはスノーボードです。数年前に始めてようやくともに滑れるようになりました！板を買うか検討中です！

無線通信部 電波利用企画課
計画調整担当

岡村 昌樹

行政採用（理系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール・郵便物チェック
- 9:00 課内会議
1週間の業務予定を共有
- 10:00 打ち合わせに向けた資料作成
- 12:00 昼休み
- 13:00 打ち合わせ
- 15:00 打ち合わせ内容をまとめて
課内及び相手方と共有
次回打ち合わせまでの課題を整理
- 17:15 終業

ICTで様々な業務に携わる

ICTの進化はとどまることを知らず、放送分野で大きな変化を遂げたのが「テレビジョン放送のデジタル化」で、その一端を担ったのが総合通信局です。

現在の主な業務は、放送事業者が所有する無線局の許認可・監督業務、また臨時災害放送局の周波数選定・調整作業です。臨時災害放送局とは、災害時に自治体等が臨時で開設するFM放送局で、被災された住民への情報提供に役立つものと期待されています。もちろん、災害など発生してほしくはありませんが…。

現在の通常業務とは別に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では電波監視業務要員として2か月ほど現地に滞在し、会場及びその周辺における国内外の無線局・放送局を監視することで、大会の成功に貢献することができました。また、第44次日本南極地域観測隊（電離層観測）隊員として1年2か月ほど昭和基地で越冬し、オーロラやペンギン、ブリザードなどの大自然を身近に感じながら業務を遂行しました。ここでの仕事や生活は一生忘れることはないでしょう。

このようにICTを始め様々な分野での業務に携わることができ、また思い出に残る仕事ができる、それが総合通信局の大きな魅力です。



情報通信部 放送課
第1放送担当

奥 政之進

行政採用（理系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュールの確認
課内メンバーの勤務時間管理
- 9:00 放送関係無線局の許認可・
監督業務
- 12:00 昼休み
- 13:00 周波数選定のための技術計算
- 15:00 補助金申請に係る審査業務
- 17:15 終業
ジム、ジム、ジム！

Private time



子育てを終え、自分の時間ができたこともあり、3年ほど前からスポーツジムに通うようになりました。ほぼ毎日、ダンスやヨガなどのスタジオレッスンを2～4本受講し、そのあとプールで1,500～2,000m泳いでいます。

今年の目標は、クロール50mの自身最速ラップを3秒縮めることです。ICTの進化とともに自分自身も進化し続けたいですね。

通信で地域住民をサポート

国家公務員や民間専門人材を市町村長の補佐役として派遣する地方創生人材支援制度により、平成31年4月から丸2年間、愛媛県久万高原町に総合戦略監（情報政策推進室長兼務）として派遣されていました。

都市部で生活していると感じませんが、山間部など日本の面積のおよそ3～4割も携帯電話が繋がらない場所があります。林業現場はそのような場所で、事故等の際に現場から救助要請できないという課題があります。そこで、LPWAという無線通信技術を使い、森林を含む久万高原町全域をカバーする通信網を構築し、位置情報を伴う救助要請ができる仕組みを作りました。この取組は、全国初のもので、林野庁の林業白書にも先進事例として取り上げられています。

自治体で働いてみて感じたのは住民との距離感が全然違うことです。四国総合通信局の業務では、一部の部門を除いて国民の皆さんと直接相対することはありませんが、町では住民との距離がとにかく近く、気軽にお声をかけていただくこともあります。常に住民を意識して仕事をする経験は貴重でした。

様々な経験ができる職場です。ぜひ、一緒に働きませんか。



情報通信部 情報通信振興課
地域振興担当

田村 裕子

行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュール等の確認
- 9:00 セミナーの企画作成、内容の検討、打ち合わせなど
- 12:00 昼休み 周辺店舗で食事
- 13:00 補助事業の進捗管理、自治体からの質問に対応等
- 15:00 データ分析、会議用資料作成
- 16:30 上司と打ち合わせ
- 17:15 終業
夕飯の買い物をして帰宅

Private time



「猫は液体である」というネット言葉がありますが、休日の私もほぼ液体です。ソファに寝そべって録画したドラマやインターネット動画を見ています。

そんな私が新型コロナ対策のテレワークで家にいる時間が増えたのをきっかけに、庭で草花を育て始めました。小さな庭ですが、秋には春に咲く球根詰め合わせセットを買い、たくさん植えました。花が咲くのが楽しみです。

新規採用職員に聞きました！

2022年度に入局した新規採用職員も、既に各所属先で活躍をしています。



情報通信部放送課
行政採用（文系）

森岡 祐貴

Q1.志望理由を教えてください。.....

生まれ育った松山で働きたいと思い志望しました。通信局は、国の機関でありながら採用3、4年目での本省勤務以外転勤がほとんどなく、人生設計がしやすいことに魅力を感じました。また業務説明会での職員の明るい人柄にもとても惹かれ、ここで働きたい！と思ったことを覚えています。

Q2.職場の雰囲気を教えてください。.....

仕事について上司や先輩方から丁寧に教えてもらえる、過ごしやすい雰囲気の職場です。私が通信局を志望した理由に人の良さがあるのですが、入局してからもこのイメージに変わりはありません。

Q3.受験生へのメッセージをお願いします。.....

おそらく皆さんは、四国総合通信局には馴染みが無く、何をするとかわからないと思います。「電波などに詳しくなくても大丈夫かな」という不安がある方。大丈夫です。私も文系出身で、電波についての知識はゼロで入局しましたが、研修も充実しているので知識ゼロでも大丈夫です。なので、少しでも総合通信局に興味を持っていただけたなら、ぜひ説明会に参加してみてください。そこでは、仕事内容から公務員試験対策までいろいろお答えできると思います。



情報通信部電気通信事業課
行政採用（文系）

高須賀 美波

Q1.志望理由を教えてください。.....

日々発展し続ける情報通信技術に携われる四国総合通信局なら、興味ややりがいを持って働けると思い志望しました。また、情報通信・電波関係を扱う部署であるため理系というイメージもありましたが、文系出身の先輩が活躍していることを知ったのも大きな理由です。

Q2.職場の雰囲気を教えてください。.....

驚くほど業務について丁寧に教えていただける職場だと感じています。業務上で詰まったことがあっても、さりげなく声をかけてフォローしていただけるなど安心して働いています。同期はもちろん、所属部署が異なる先輩からもたくさん声をかけてもらえる開放的な雰囲気です。

Q3.受験生へのメッセージをお願いします。.....

採用1年目ではありますが、四国の様々な自治体や事業者の方々と一緒に仕事をさせていただき、やりがいを感じています。新規採用者研修では全国各局の同期と交流し、2年間の東京の本省勤務がより楽しみになりました。また、先輩方は皆さん多趣味で公私ともに充実しておられる姿が印象的です。職場の雰囲気も非常に良く、働きやすい職場です。少しでも興味をお持ちいただければ、ぜひ説明会に参加してみてくださいね！

採用から半年間の歩み >>>>

4月



採用後、全国の同期と共に、総務本省や研修所で約1か月間研修を受けます。無線技術や電波法などの基礎的な知識の習得からビジネスマナーの講義まで幅広い研修があります。

5月



四国に戻ってからも職場研修を行います。局内研修で各課の業務を学ぶほか、無線局を実際に運用する施設として、放送局のスタジオを見学します。

6月



6月1日は「電波の日」。電波法施行を記念した式典にスタッフとして参加し、情報通信の歴史の重みを感じます。

採用



7~9月



採用から6か月間は条件付採用期間として、指導員のもと様々な実務指導を受けながら、徐々に仕事を習得します。

10月



条件付採用期間が終了し、正式な通信局の一員となりました。これから、様々な業務を意欲的に取り組んでいきましょう！

Q & A よくある質問

Q. 勤務地はどこですか。

A. 当局は四国4県を管轄していますが、出先機関がないので愛媛県松山市勤務となります。ただし、採用後3年目からの2年間は総務本省（東京）で勤務をしていただく機会があります。また、キャリアアップのため、本省での勤務を希望することも可能で、海外勤務も夢ではありません。

Q. 電波の知識はありませんが、技術的なことに対応できるでしょうか。

A. 当局は行政、技術系の試験区分にとらわれず人物本位の採用をしています。採用後、本省や情報通信政策研究所（東京都国分寺市）において約1か月間の新規採用者研修があるほか、各種業務に直結した専門的な研修を20コース以上準備しています。

Q. 採用人数はどれくらいですか。

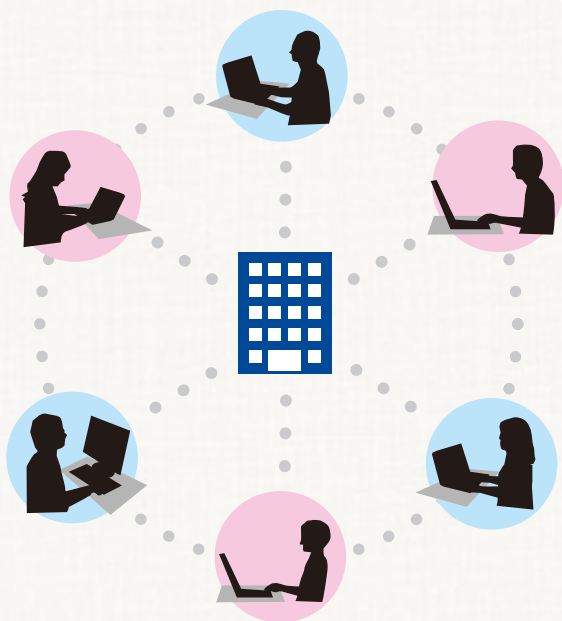
A. 過去5年間の採用状況は以下のとおりです。

	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
行政	1	2	1	1		2	2	1	1	1
技術系			1							

Q. 採用後はどのような業務を経験できますか。

A. 本人の希望や、適性などを考慮して、より多くの部署での業務経験を積んでもらうことを目的に、おおむね2~3年ごとに担当業務が変更となり、無線局の許認可やICT利活用の推進など様々な部署を担当してもらいます。配属先や業務内容について、行政と技術系の区別はありません。

総務省はテレワークを推進しています



柔軟な働き方を可能にし、仕事と家庭の両立や通勤負担の軽減にもつながることから、総務省では積極的にテレワークを推進してきました。現在※、四国総合通信局では新型コロナウイルス対策として、1日あたり約4割の職員がテレワークを実施しています。

※令和4年6月現在



【入局1年目の職員から ～安心できる環境～】

2日に1回のペースでテレワークをしています。最初は「いきなりテレワークで仕事ができるのかな」と不安もありましたが、判断に迷うことや分からないことがあれば、上司や先輩方にチャットや通話で気軽に質問できるため、安心して仕事に取り組んでいます。

また、同期と連絡を積極的に取り合い、業務外のことも相談し合える関係であったため、何か困ったことがあっても同期がそばにいるという安心感はすごくありました。



【入局5年目の職員から ～テレワークの恩恵と業務効率化～】

テレワークを週2回程度行っています。押印廃止やペーパーレス化が進んだことから業務負担が軽くなったり、通勤時間が不要になったことから余暇が増えたりするなどテレワークの恩恵を受けているなど感じています。一方で、紙面上の作業が必須な業務や、機密事項を扱う業務があるなど自宅で行える業務が限定されているため、業務の区分けと優先順位付けを意識して仕事をしています。



【入局15年目の職員から ～育児参加の時間を増やす～】

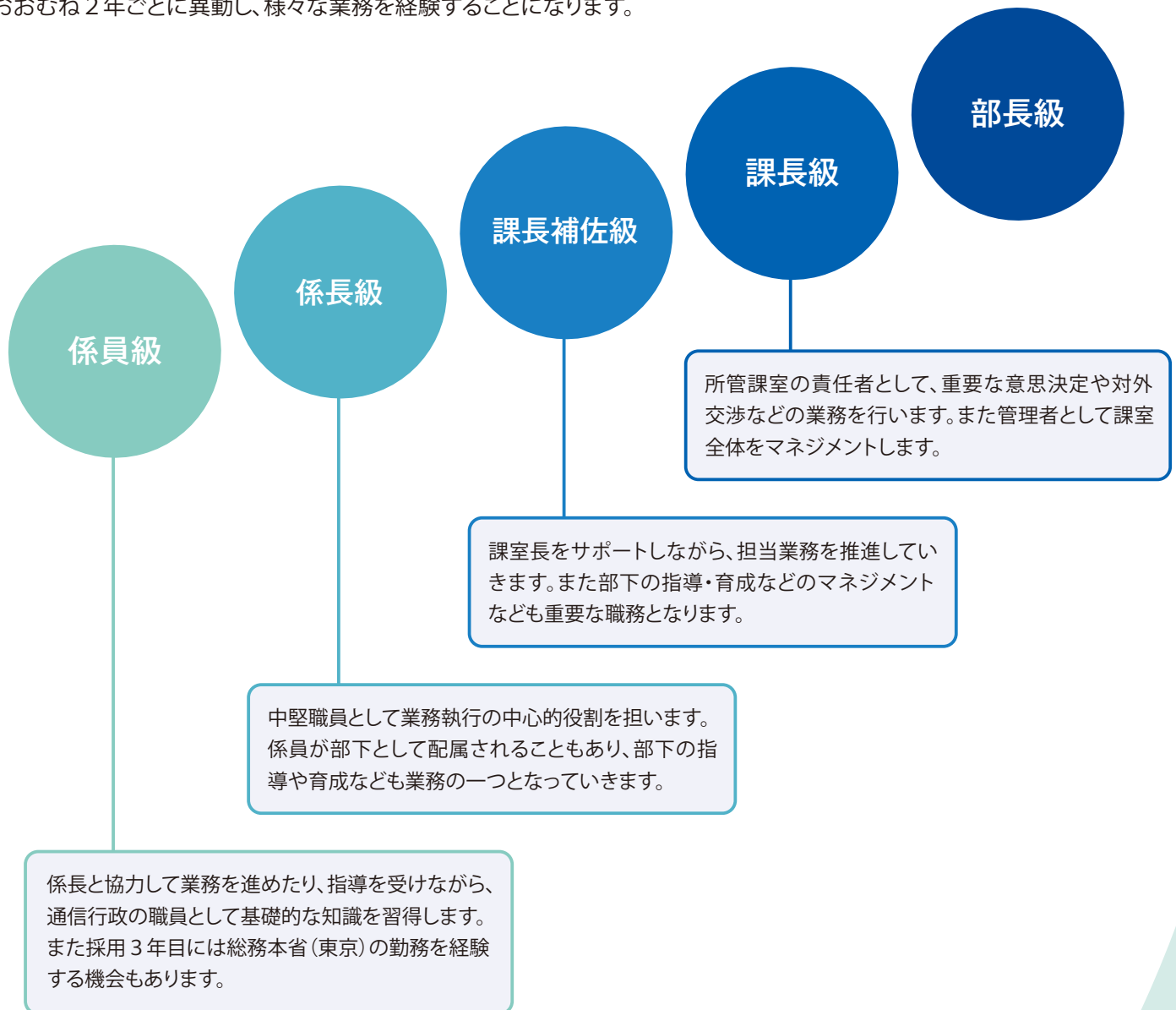
4歳と1歳の子供がおり、テレワークを週2、3回利用して育児参加の時間を増やしています。テレワークでは、通勤にかかる時間や昼休みを子供と触れ合う時間に充てたり、仕事が終わった後すぐにご飯やお風呂の時間を一緒に過ごしたりすることができ、子供も喜び、妻の負担軽減にもなっています。たまに子供がパソコンを勝手に触ったり、オンライン通話の際に大声を出されたりするのはご愛嬌ですね。

キャリア形成について

入局後は、係員・係長・課長補佐等とキャリアを積みながら情報通信行政を担う

国家公務員として成長していきます。

おおむね2年ごとに異動し、様々な業務を経験することになります。



▶ 研修制度

入局後すぐに新規採用職員研修があります。ここで公務員として基本的な心構えや通信行政の基礎的な知識を習得していただきます。その後は担当業務に応じた実践的な専門研修や局内研修が用意されています。

▶ 多様なキャリアパス

他官庁との人事交流や、地方公共団体への出向も行っています。また希望すれば本省に転任し、総務本省にて政策立案や予算業務に携わることも可能です。様々な環境で経験を積み、多角的な視点や調整能力を身に付けることを期待されています。



各課の主な業務

総務部

総務課

局全体の総合調整をしています。広報活動や行政文書の管理のほか、職員の人事や福利厚生のお務などを行っています。

財務室

会計管理全般、庁舎管理、資材・財産の調達・契約・管理を行うほか、電波利用料の徴収事務をしています。

信書便監理官

信書便事業者の参入支援のための周知活動や四国の信書便事業者の許認可及び監督をしています。

情報通信部

電気通信事業課

電気通信事業の監督、青少年のネット利用環境の整備、大学等の研究開発の推進、地域コンテンツの流通促進などを行っています。

情報通信振興課

Wi-Fi環境の整備、オープンデータ利活用の推進、テレワークの普及等、ICT/IoT利活用を推し進めて地域の活性化に取り組んでいます。

放送課

放送局、CATVの許認可、テレビ・ラジオの受信障害相談の対応、臨時災害放送局の開設支援などを行っています。

無線通信部

電波利用企画課

四国の周波数割当状況の管理や電波の利用状況の調査、地域のための電波利用の利活用の促進をしています。

航空海上課

飛行機や国際・国内船舶など上空や海上で使用する無線局の許認可や無線従事者免許の交付をしています。

陸上課

警察無線や消防無線のほか携帯電話やアマチュア無線など陸上で使用する無線局全般の許認可をしています。

電波監理部

電波利用環境課

電波適正利用のための周知広報や電波の安全性に関する説明会を開催しています。

監視調査課

不法・違法電波の監視や混信妨害源の調査、警察・海上保安庁との共同取締りなどを行っています。

Shikoku Bureau
of
Telecommunications

総合通信相談所

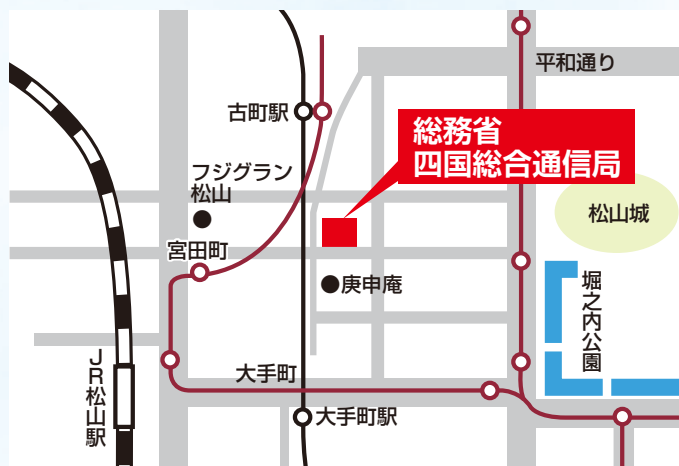
情報通信行政に関する相談窓口です。

防災対策推進室

ICTを活用した防災・減災のための対策を推進しています。

サイバーセキュリティ室

サイバーセキュリティ政策の推進に取り組んでいます。



四国総合通信局総務課人事係

〒790-8795

愛媛県松山市味酒町 2 丁目 14-4

TEL089-936-5012

採用情報は
こちら→

